

近くに横断歩道がないので、あなたはお店に向かって道路を渡ろうとしています。正面のクルマは駐車場から車道に出るため一時停止しているようです。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は歩行者に、走行車両の直後を横断する時の危険について考えてもらうための KYT です。

活用方法

1. 少人数のグループをつくります。
2. 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
3. その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト (カラー・A4 版)」は下記 SJ ホームページでご覧いただけます。また PDF ファイルもダウンロード (無料) できます。

ホンダ SJ 検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
 - 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
 - その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。
- 本田技研工業 (株) 安全運転普及本部
TEL: 03 (5412) 1736 E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

© 本田技研工業 (株)

Q1

平成 26 年の交通事故死者数を状態別にみると、高齢者 (65 歳以上) では次のうちのどの状態が最も多いでしょう？

- ①自動車乗車中 ②二輪車乗車中
③自転車乗用中 ④歩行中

Q2

高齢歩行者の交通事故死者数を昼夜別にみると、昼間と夜間で多いのはどちらでしょう？

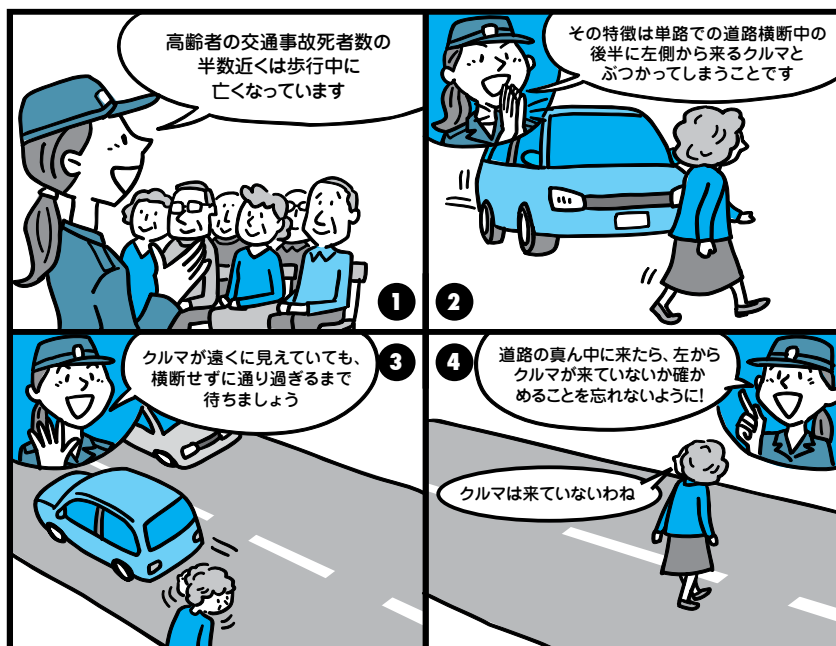
- ①昼間 ②夜間

Q3

高齢歩行者の交通事故死者数を自宅からの距離別でみると、自宅から 500 m 以内で事故に遭った人は何%を占めているでしょう？

- ①約 40% ②約 50%
③約 60% ④約 70%

※「解答」は 8 面下、「解説」は下記 SJ ホームページでご覧いただけます。
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>



© 本田技研工業 (株)

指導者ファイル

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。

28

青森市・交通安全教育指導員の皆さん

山田美恵子さん (写真左)、柴田純子さん (写真右)

五感をフル活用して集中力を高め次の年につながる安全教育を実施

青森市は青森県の中央部に位置する人口約 29 万人の都市である。同市民生活部生活安心課に所属する山田美恵子さん、柴田純子さんが 2 人で市内の幼児、小学生への交通安全教育を担っている。小学生は 4～5 月の間に 24 校、幼稚園・保育園・認定こども園は 5 月半ば～11 月にかけて約 90 ヶ所を訪れ、雪が降る前までは市内で依頼があった幼稚園等で教室を実施する。

今回取材したのは、青森市内にある平和台保育園での交通安全教室。幼児 60 人が参加し、およそ 50 分のプログラムを用意。実技指導に先立って、まずは幼児たちが親しみやすいアニメによる交通安全ビデオを上映。そして、「あやとりい ひよこ編」の教材をアレンジした音当てゲームへ。用いるボードは会場で大きな紙を貼り付けられない場合を想定し、手製のスタンドに立てられるよう工夫されている。

歩行の実技指導では、クルマに見立てた



手作りボードを確認しながら年長の園児たちが 2 人 1 組で横断歩道を渡る。教室の終盤では全員が参加できる体を動かすプログラムに移行。ピッピー体操や横断歩道前に立ったら行う「3本指のおやくそく (1本指: わたしは、2本指: 必ず、3本指: 止まります)」を通じて、最後まで幼児たちの集中力を切らさないよう、テンポよく教室は進んだ。

「近年は、私たちの問いかけに対し積極的に応えてくれる幼児が増えてきました。昨年の教室のことを覚えている子どもたちが楽しい雰囲気をつくってくれています」と柴田さん。山田さんは「短時間でたくさんの要素を盛り込んでいるのは、幼児たちに『見る・聞く・話す』ができるようにするため。五感をフル活用させ、集中力を高めることをねらっています」という。

● 平和台保育園での交通安全教室



音当てゲームは「あやとりい ひよこ編」のイラストを使用。ヒヤリの状況を切り出し、1 ボードで 1 エピソードを簡潔に解説



手づくり教材の数々。うちわの部分は写真右のように、スタンドにさすことができる



ピッピー体操は青森市内の交通安全教室で長年実施されている。先生方が覚えていて、教室全体で盛り上がるこ

年長の幼児のみ歩行の実技指導を行う

指導者の皆さんの活動を動画でご紹介

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>